上内ふれあい

まち協
25号

発行責任者
上内校区
まちづくり協議会
会長
野田 卓朗

編集
上内校区まちづくり協議会広報部会

令和6年3月13日
発行



親子仲良く歩きを楽しむ参加者たち



多くの参加があった上内ウォーキング

上内を歩いて健康増進

大牟田市上内校区まちづくり協議会の令和五年度体育事業で「上内ウォーキング」が二月十八日に上内校区内で実施された。校区民に体育部会員も含めて約七十人ほどが参加。歩きを楽しみ、交流を深めた。

同校区のウォーキングは昨年から始まり、今年で二回目。校区民の健康増進と維持が目的。参加者たちは、上内小学校に集合し、そこから岡天満宮、新大牟田駅で休憩、広瀬公民館、屋山公民館などを経由して上内小に戻る約五キロのコースを歩いた。

この日は好天気だったこともあり、昨年を上回る参加があり、保護者同伴の小学生の姿もあった。参加した児童は「楽しかった。また来年も参加したい。」と話していた。閉会式がコミセン前であり、参加賞が配られた。

上内小に門松設置

上内校区まちづくり協議会運営委員たちが令和五年度も年末に上内小学校正門前に門松を二基設置した。後日、児童たちからお礼の言葉が贈られた。

門松設置は、十年以上続いている恒例行事。子どもたちに喜んでもらおうと行われている。今回も早朝から多くの参加があり、スムーズに作業が進んだ。



門松を設置した上内校区まち協運営委員たち

災害時の支援体制考える

防災研修会 公民館ごとにグループワーク

上内校区まちづくり協議会の支援体制を考える～要配慮者の避難支援づくり～が一月二十八日、上内小ふれあいホールであった。まち協の運営委員や福祉委員、民生委員など約四十人が参加して町内ごとに四班に分かれてグループワークを行った。

まず、まち協の野田卓朗会長が「新年早々に石川県能登半島地震が発生。みなさんで災害時の体制を考えていきましょう」とあいさつ。

大牟田市防災危機管理室副室長補佐の高野仁士さんがスライドを使って説明。地域における災害への備えについて、今年の大雨を振り返ったり、他校区の取り組み事例を説明。

上内校区では大雨の被害が顕著だったが、令和五年度の被害状況は上内小学校やリフレス大牟田ともほとんど避難した人はいなかったといい、「避難場所の場所の施設だけではない。自宅や公民館も避難できる」とし、避難者支援活動推進交付金事業や防災グッズの紹介もあった。

グループワークは四地区の町内ごとに分かれ、校区における支援体制づくりで配慮者の支援を地図にマッキングして避難ルートなどを検討していった。最後に四班の代表がそれぞれ話し合った内容などを発表したり、感想をのべた。



グループワークで支援体制を検討

コミュニティ地域福祉 環境衛生大会で表彰

第五十一回大牟田市校区コミュニティ研究大会と第十五回大牟田市地域福祉大会は大牟田文化会館、第六十回大牟田市環境衛生大会は市労働福祉会館であり、それぞれ表彰などが行われた。

校区コミュニティ研究大会の被表彰者に上内校区の対象者はなかった。地域福祉大会は感謝の部で校区社協実践活動者として上内校区の古賀和信さん、小原郁夫さん、桑原和子さん、永年賛助会員の部で上内校区民正委員・協議会を表彰。

環境衛生大会は県地区衛星連合会理事長表彰を上内校区の川床公民館と広瀬公民館も受けた。

寺公民館優 グランドゴルフ大会

ホールインワンは5人

上内校区まちづくり協議会主催のグランドゴルフ大会（公民館対抗）が十一月五日に上内小学校運動場であった。公民館ごとにチームを編成し、プレー。チームの合計点で順位を決めた。ホールインワン賞は五人だった。

競技は4ホールを二回プレーして総打数で競った。今回は簡単すぎると指摘もあり、コースに変化をつけるため、障害物を設置するホールも設けられた。被表彰者は次の通り。

【順位】①寺公民館②高田公民館③椛公民館④下内公民館⑤下坂井⑥南公民館⑦川床公民館⑧上坂井公民館⑨広瀬公民館⑩中栗公民館⑪中尾公民館⑫岡公民館⑬湯谷公民館⑭屋山公民館⑮芝尾公民館

【ホールインワン賞】野田輝美（高田公民館）野田和弘（椛公民館）境信剛（下坂井公民館）境和哉（同）松尾敏実（上坂井公民館）



優勝した寺公民館のメンバー



プレーを楽しむ参加者たち



給食を試食する児童と地域の住民

上内小の給食おいしい

児童と住民が試食会

上内小学校は一月二十六日、同小ふれあいホールで給食試食会を開いた。学校を支援している地域住民などを招待し、児童たちと一緒に給食を食べて楽しい時を過ごした。

給食試食会はコロナウイルス防止の観点からここ数年は中止になっていたが、久しぶりに開催。馬籠秀典校長が「地域の皆さん、市議会、教育委員会、吉野地区公民館などから来ていただいた」などと感謝。栄養職員がヤンニョムチキン、三色ナムル、麦ごはん、牛乳、わかめスープと献立を説明。児童代表が「上内小給食はおいしい」とアピール。試食した地域住民からも「おいしかった」との声が聞かれた。

既存集落の活力維持へ 市街地調整区域に県条例活用

大牟田市都市計画・公園課は上内校区に対して「市街地調整区域における既存集落の活力維持に向けて」として説明。「本制度に興味のある地域は内容について詳しく説明します。市役所都市計画課・公園課まで問い合わせを」と呼び掛けている。既存集落の活力維持に向けた取組みで県条例を活用することにより、一定の地域を定め一戸建て住宅を中心に建設許可を緩和するもの。指定できる区域は建物が五十㍍以内に五十戸以上連たん（集積）していることや道路設備状況、農業用地を含んでいないなど条例で規定された地域に限られる。また地域指定には地権者など関係者の同意が必要。問い合わせは都市計画課・公園課（電話４１２７８２番）へ。

絶対しない！ させない 許さない！ 見逃さない

大牟田市内で原付バイクと軽四輪自動車がぶつかり、原付を運転していた男子高校生が死亡する交通死亡事故が発生。そして、軽四輪を運転していた男性が飲酒運転だったことから、緊急で「大牟田市飲酒運転撲滅大会」が二月二日、大牟田文化会館で開かれ「飲酒運転は絶対しない！させない！許さない！見逃さない！」を誓い合った。

撲滅大会は事故で亡くなった男子高校生への黙禱で始まり、大牟田警察署長と大牟田市長が主催者あいさつ。市議会議長の来賓紹介。ＮＰＯ法人はぁとスペース理事長の山本美也子さんが「思いやりで社会を変える」～飲酒運転撲滅への願い～と題した講演を行い、飲酒運転による事故で息子を亡くした体験談を披露した。飲酒運転撲滅宣言とシュプレヒコールがあった。



飲酒運転撲滅運動の様子

上坂井地区、四ケ地区工事を図面示し説明

南関大牟田北線バイパス



歩幅を拡幅している四ケ地区工事

福岡県南筑後県土整備事務所は、南関大牟田北線バイパスの上内校区分について、地元代表などに全体図、上坂井地区工事図面、四ケ地区工事図面を示して説明。「地元には、御不便、御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、御理解、御協力を」と呼びかけている。

同バイパスは、岩本交差点から南側に下坂井地区を通り、上内小学校裏側がトンネル工事となり、そこからテクノパークの道路、そしてオタライト横から上内峠を下った現道路につながる。

上坂井地区工事は、平成元年の隣接地発掘調査で平安時代後期を主体とする掘立柱建設跡が検出されていることから、近くの建設予定地の発掘調査を行う。期間は三月末までの予定で、その終了後に除草や整地の本施工前の準備工事になる。その右側の岩本交差点までは、十月の稲刈り後に工事着手予定。

四ケ地区の工事は中尾バス停付近で現在の歩道幅約一㍍を二・五㍍に拡幅するもの。中尾公民館下の竹林などもきれいにしたことから、カーブの視界がよくなっている。後期は、今年度いっぱいの予定だが遅れることも予想されている。

造成工事完了

入居企業6月に分譲候補地決定へ 市営駐車場も整備



造成工事がほぼ完成した新大牟田駅産業団地

大牟田市新産業団地整備推進室は上内校区まちづくり協議会に新大牟田駅産業団地について説明。造成工事はほぼ完了。残る関連工事と交差点改良工事、駐車場の整備、団地東側排水工事などは令和六年度当初にはすべて完了する予定とした。

「新大牟田駅産業団地の公募については現在行っている工事の進捗を確認しながら準備を進める」としている。

この団地は、九州新幹線新大牟田駅の南側で主要地方道南関大牟田北線に接した農地の土地利用で全体の面積は八・一四㌶、製造業などの産業用地が四・四五㌶、商業・サービス業などの賑わい交流用地が二・六五㌶ある。

市がすでに入居企業の公募を開始、入居対象の業種は製造業などで申し込みは四月一日から。審査委員会で選定し、六月上旬に分譲候補地を決定するという。また、南側に九十八台収容できる市営駐車場を整備すると明かしている。四月下旬に営業開始。

上内校区まち協への説明会では、「説明不足の指摘」や大雨の際の浸水解消や雑草の除草などを求めたり、立地企業についてなどで質問があった。